

第9回女性人権活動奨励賞

2013 やより賞 決定!!



武藤 類子

プロフィール——

1953年福島生まれ。チェルノブイリ原発事故および姉の白血病発症をきっかけに反原発の活動を開始。養護学校教員を20年務めた後2003年に退職し、自宅であり人々の集う拠点ともなる喫茶店「燦(きらら)」をオープン、再生可能エネルギーと自然の恵みに依拠した暮らしのモデルを提供してきた。だが、そのライフワークは原発事故で破壊された。2011年「さようなら原発5万人集会」でのスピーチが彼女を全国的なリーダーに押し上げる中で、彼女はこの重大事故と子どもの人権の保障について、法的な責任を追及する集団行動の重要性を強調してきた。



やよりジャーナリスト賞

——2013年は該当者なしとなりました。

今後の活動へのおおいなる期待を込めて、特別枠として「期待賞」を、堀切さとみさんへ贈呈致します。

●やよりジャーナリスト賞 特別枠 「期待賞」 堀切さとみ

プロフィール——

さいたま市内の小学校で給食調理員として働く。学生時代から、社会問題を広く訴えるために作られたドキュメンタリーに関心を寄せてきた。2008年に「市民メディアセンター MediR(メディアール)の講座を受講し、映像を使った情報発信の技術を学び、以前から関心のあった、原発に反対する祝島の映像を『神の舞う島』(20分)として発表。2011年3月に起きた福島第一原発事故をうけ、チェルノブイリに匹敵するこの大問題を記録しようと決意。埼玉県に避難した双葉町民を軸としたドキュメンタリー『原発の町を追われて』を2012年7月に発表し、全国およそ50カ所で自主上映。2013年7月に続編を発表しながら、原発避難民の置かれた現状を記録し続けている。